



兵庫支部NEWS H17 4月号

北九州市立大学同窓会兵庫支部 編集発行人 名越英昭(TEL078-792-6130)

ホームページ: <http://www.hi-net.zaq.ne.jp/kono> メール: nagoshihideaki@yahoo.co.jp

購読料 12回1,500円(送料込)

購読のお申し込みは郵便振替

振替口座00980-2-245822

口座名: 北九州市立大学同窓会兵庫支部

戻り寒波で震えた一泊旅行 雪が舞う塩江温泉

三金ゴルフ、歩こう会及び囲碁の会共催の一泊旅行は、曇り空の3月12日(土)JR垂水駅に午前10時集合し、車に分乗して出発した。

明石海峡大橋を渡り、淡路SAで姫路方面から参加の4人と合流し、合計15名となり、4台の車を連れ松山車が先導して明石鳴門道を南下。鳴門大橋を通過し、鳴門ICで高速と別れ11号線から12号線へと入るところで道に迷った。



(雲が低く垂れ込む明石大橋)

先導車には徳島出身の河野氏、地図を片手の名越支部長も同乗していたにも拘わらず、結局通りすがりの地元の人に問合せ何とか最初の目的地霊山寺へ予定より40分遅れて到着した。



(霊山寺山門前にて)

三和山霊山寺(りょうせんじ)は四国霊場八十八ヶ所1番札所であり、ここから時計回りで88番札所まで全行程1450キロとのこと。白装束のお遍路姿も多い。先ずは旅の無事を祈願して、次の目的地屋島へと急ぐ。

高松道・屋島ドライブウェイを経由して、屋島山上に到着。なにはともあれ「さぬきうどん」をと食堂に駆け込む人、早速84番札所の屋島寺へとお参りする人

それぞれに屋島山上でのひと時を過す。屋島は標高293mだが、この日は寒波の戻りで一段と冷えて、山上を散策していると雪が舞い落ち始め、折角の瀬戸内海の眺望も霞んでしまった。

一刻も早く温泉に入って温まりたいと次の観光予定の栗林公園は中止として、塩江温泉へと直行することになり、ここであって高松に居住していたという久芳氏が先導することになる。

高松市内に入り、栗林公園の前を素通りして、193号線をひたすら塩江温泉を目指して約1時間程走る。

牡丹雪が降りしきる中を予定より1時間早い午後4時前に新樺川観光ホテルに到着し、早速今回の会費の徴収そして交通経費の支払いなど会計を担当した吉本氏は大忙しで、本当にご苦労さんでした。

宴会は午後6時から安徳三金ゴルフ会会長の司会で始まり、初参加の高須さんの自己紹介から、昨秋胃の手術をし、今回元気で参加された中尾氏の復活宣言など参加者全員が舞台上に立ち

近況報告・闊病体験談などがあり、お決まりのカラオケとなり、午後8時半頃迄賑やかに楽しんだ。

その後部屋に戻り、明日の熱戦に備えて早々と床に就く人、再度温泉を楽しむ人、そして囲碁・将棋大会では午後11時半頃まで頑張った人等それぞれに温泉宿の夜を楽しみ、翌日の好天を祈りながら就寝。



(84番札所屋島寺山門)



(久芳・安徳・二宮・謝・高須)



(高須・永翁のデュエット) (中尾氏近況報告)



損害保険・医療保険・がん保険
の総合保険代理店

安心の発信基地

大村保険サービス

代表 大村 実良
(昭和33年商学部卒)

652-0897

神戸市兵庫区駅南通3丁目4-1-302

TEL 078-671-7318 FAX 078-671-8318



《自然木 高級檜造りの家》
増改築・新築・不動産全般

株式会社瀬戸内ホーム

代表 永翁 正臣
(昭和41年 商学部卒)

〒671-1103

姫路市広畑区西夢前台6丁目2番地

Tel. 0792-36-0833

Fax. 0792-36-0905

兵庫支部月例会3月「三金会」

関西支部から松尾祐嗣氏(45経営) 特別参加

3月18日(金)午後6時からスナック「フリージア」にて兵庫支部月例会「三金会」が開催され、関西支部から特別参加の松尾祐二嗣氏(45経営)、姫路から久々に参加の永翁正臣氏を迎えて、支部総会などについて熱心な討議が行われた。



参加者：大村実良(33商)高尾巖(36商)平間正昭(37商)名越英昭(37米英)二宮慶次郎(38米英)銭谷勘一郎(39米英)前原賢作(40商)永翁正臣(41商)安徳信義(44商)山田紘昭(44商)佐藤研二(H08法律)松尾祐嗣(45経営 関西支部) 謝美華(ゲスト) 計13名
(写真は特別参加の松尾氏)

報告事項

1. 塩江温泉一泊旅行

ゴルフ組12名、歩こう会3名、合計15名の参加で3月12日-13日予定通り実施されたことが報告された。(詳細別掲)

2. 本部行事予定

5月28日(土)平成17年度第1回評議会
11月19日(土)第2回評議会、全国支部長会、ひまわりの会
11月20日(日)総会・懇親会
いずれもステーションホテル小倉にて開催

協議事項

1. 支部総会開催について

開催場所：第1候補としていた姫路ワシントンホテルプラザは下見の結果、見送りと決定。同じ姫路市内のホテルオクウチを候補として永翁氏が交渉担当。

開催日：7月2日(土)午後3時から6時まで

会費：男性 8,000円 女性 5,000円と決定

アトラクション：永翁氏娘さん由希子さんによるバンドを予定する。

案内発送：5月中旬を目途にする

総会パンフ内容及び広告については次回協議

その他

1. 関西支部との囲碁交流会について

4月9日(土)13時

梅田囲碁サロン

「刻(とき)」に

おいて開催予定

参加予定：銭谷、

平間、名越、前原

2. 歩こう会4月例会

「観桜会」として、会場を明石城公園と決め、

歩くコースは二宮会長に一任

三金会に特別参加の松尾祐嗣氏より自己紹介があり、同氏の同窓会に対する熱心な思いが披露され、三金会メンバーと意見交換がなされた。その後は同じ会場で二次会に移行し、夜遅くまでカラオケを楽しんで、さらなる懇親を深めて、散会した。



(熱心な討議がされた三金会)

投稿大歓迎

皆様のご投稿を待っています

随筆、旅行記、自分史、短歌、俳句、川柳、写真、本紙に対するご意見・ご感想、何でもOK

広告大歓迎

掲載料：1/10ページ 1回500円

お申し込みは6回分3,000円でお願ひします

公立大学法人北九州市立大学発足

北九州市立北九州市立大学は、4月1日法人化され公立大学法人北九州市立大学として発足し、理事長に法人設立準備委員会委員長だった阿南惟正氏(72)、学長に矢田俊文(64)・九州大元副学長が就任した。

北九大卒業生1387人

3月19日卒業式があり、大学院生94人を含む1387人が母校を巣立った。春季リーグ戦で39年ぶりの優勝に貢献し、中日ドラゴンズに2巡目で指名された中田賢一投手もオープン戦の合間を縫って出席。

4年次在籍者総数1632人(男800人、女832人)のうち、卒業者数は1293人(男574人、女719人)大学院修士課程博士前期課程2年次在籍者数は、112人(男69人、女43人)で、うち修了者数は85人(男58人、女27人)であり、同博士後期課程3年次在籍者総数12人(男8人、女4人)のうち修了者は9人(男5人、女4人)である。

インド便り 一第15回一

年に一度のメラ

高森千賀子(44米英)

インドには神様が多くいて、その中でもシバとヴィシュヌという2神がヒンドゥ教徒の信仰を集めている。このシバ神の祭り(シバラトリ)が今年は3月8日から2週間ほど続いた。

人口7,8千人の小さなカジュラホ村に何十万もの人々が寺院に参拝に訪れる。広場には何百ものテント小屋の店が作られ、衣類、アクセサリ、家庭用品、時計、靴、おもちゃ、香辛料、ロッカーなど様々な物を売っている。またサーカスや手品小屋もある。移動遊具は大中小の大きさの観覧車、コーヒークップ、デパートの屋上にあるような子供の自動車が有り、真夜中まで音楽をガンガン鳴らしてとても賑やかだ。この広場の祭りのことをメラと呼ぶ。

メラには毎年、学校の生徒を連れて遊びに行っているの、今年も土曜日の授業を半ドンにして行った。メラまで徒歩で片道1時間近くかかるので、数人の小さい生徒は帰宅させた。チビクラスのある生徒にも先生が帰宅するように言うと、行きたくて泣き出してしまった。彼は勉強も良く出来るし、しっかりしているので連れて行った。メラまでの途中多くの人から「どこへ行くの？」と声をかけられ、生徒達は「メラだよ」と喜々として答えていた。カジュラホの観光名所の寺院前に、警察の派出所があり、知り合いのオフィサーも中から手を振ってくれた。

さて、メラ到着後どの観覧車に乗るかという話になり、最大のは地上20m位のもので怖がって誰も乗ると言わない。中サイズの観覧車に5,6人の生徒と私が乗った。男性教師たちも目まいがするからと乗らない。残りの生徒は一番小さい観覧車に乗ったが、それでも恐れて目をつぶっていたり、泣き出したり、降りたいと叫んだり、観客は大笑いだ。

その後、手品小屋に入場した。手品定番のハンカチから花を出したり、空箱からウサギを何匹か出したり箱の中に人が入り、刀を突き刺す芸だ。人間を宙に浮かすのもあった。片隅に置いたポットの中の水を出して空にするのだが、芸の合間に水が溜まってきて、何度も水を注ぎだすという技。牛乳を少年の口から飲ませ、今度はそれを耳や乳首、お尻やおちんちんから出させるという愉快なものもあり大爆笑だ。オンボロテント小屋内は30℃以上の熱さだったが、その暑さも忘れて楽しんだ。

(次頁へつづく)

インド便り - つづき -

手品小屋を出ると、生徒達は水を飲みに一斉に手押しポンプ目がけて突進だ。それから再び列を作り、炎天下を帰宅したが、真っ先に私がダウン。生徒たちは喉の渴きを訴えはしたもののいたってタフだった。

学校では今でも時々メラの観覧車が怖かったことや、手品の不思議さを話していて、生徒たちには楽しい思い出が心に刻まれたようだ。

歩こう会3月例会

屋島源平史跡めぐり



(屋島を背景に二宮・高尾)

三金ゴルフと共催で塩江温泉一泊旅行の一環として、ゴルフ組と分かれ、屋島源平史跡めぐりを企画したが、当初参加予定の8名が、風邪や急用で3名のみの参加となり、少々寂しいウォーキングとなった。

前日からの降雪は、朝になっても降り止まず、7時に出発していった「ゴルフ組」の動向が気になりながら、出発準備をしていると「ゴルフ場はクローズだ」と安徳氏から連絡が入る。「歩こう会」と一緒に史跡めぐりをする事になれば賑やかになって丁度良いなどと手前勝手な期待をしていたのだが、ホテルとゴルフ場とのバック旅行のため、ホテル側でプレイ可能なゴルフ場探しがされ、志度CCで予約できたとのこと。スタート時間の大幅な遅れで、こちらのウォーキングもお蔭様で時間がたっぷり出来た。

8時過ぎ降りしきる雪の中をホテル出発。当初計画では山越えの近道をとるつもりだったが積雪の恐れがあるため、前日に走った193号線を高松市内方面へと向うことにする。高松市内近くになると雪も降ってはならず、青空も見えるほどだ。この分だと快適なウォーキングが楽しめそうだ。

約1時間ほどで出発予定地の琴電八栗駅前到着し、駐車場探しで右往左往し、結局八栗駅前のスーパーの駐車場を利用して貰うことにする。

まずは屋島ふもとの西海岸側へと向かい、屋島を背景に記念撮影。

西海岸を北上して、最初の目標「菊丸丸の墓」を目指すもどうやら行き過ぎたらしい。農作業をしている土地の人に尋ねると少し戻った所に道路脇に小さな雨除けの建物に、小さなお地蔵さんのような墓碑があった。佐藤継信の首を取ろうとし討ち死にした平能登守教経小姓、菊丸丸の墓である。

続いて安徳天皇が内裏として1年4ヶ月有余滞在した場所に建てられた安徳天皇社にお参りする。

源平史跡の周りには、「げんぺい」と記した紅白の幟が立てられ、それと一目で判る様にされていることに気づいた。



(駐車場を借りたスーパー)



(安徳天皇社)

佐藤継信の墓を訪ねると周囲は軍人さんの墓がずらりと並んでいる。佐藤継信の忠死を広く世に知らせる為に高松城主が建てたので、戦争で忠死せる軍人の墓所となったようである。

ここから対岸の東海岸に渡る為一旦南下して平家が船を隠したと言われる「船隠し」まで約6キロを北上。途中石造品の展示場があちこちに散在し、大きな石灯籠や装飾品が展示されていた。

朝の冷え込みが嘘のような天候となり、気温も上昇してきたが、風が強い。海に近い志度CCでの強風が思いやられる。

舗装道路から小高い丘の山道に入り平家が兵船に米を配分した所という「米はかり」を通り過ぎ、丘を下りると「船隠し」の入江に到着した。

再びバス道に戻り、傍らの喫茶店で休息

ここから来た道を1時間有余歩くのはゴメンだとバスに乗ることにする。那須与一が扇の的を射る時に駒(馬)を止めたという「駒立岩」また「願わくばあの扇の的を射させ給え」と祈った「祈り岩」を見て、洲崎寺まで南下し境内の源平合戦の詳細図を見ていると、土地の人が声を掛けてきて、「弓流しの跡」「しころ引き」を見たかと尋ねられる。聞けば市役所を退職し、地域の観光案内を

ボランティアでされている由。自宅敷地内に「しころ引き」の逸話の場所があるとか。是非見て欲しいと付近の主要な史跡を車で案内していただいた。どうやら我々は、一筋違う道を南下し

(谷本氏と自宅前の「しころ引き」説明板)でしまっていた様案内していただいた谷本氏と別れ、車で通った各史跡を今度は徒歩で訪ねて、午後2時前に駐車場に戻る。ゴルフのスタート時間遅れで時間はたっぷり有るので、予定外の八栗寺まで行くことにする。

谷本氏から聞いたさぬきうどんの名所「山田家」は八栗寺参道にあり、そこに立ち寄りうどんを賞味する。日曜日という事もあって広い駐車場は一杯人気のほどが推し量られる。

八栗寺へはケーブルカーを利用して登る。四国霊場第85番札所で、五剣山の麓にある峰が五つの剣のように切り立っているので五剣山と呼ばれ、その威容が間近に迫って見ることが出来た。

八栗寺参拝後は、「ゴルフ組」と合流する為、志度CCへと車を走らせる。4時半ごろにゴルフ場に到着フロントに問い合わせると上がるのは5時半から6時になるだろうとのこと。夕暮れになると急速に冷え込んできて車の中で暖をとる。筆者はコースまで追っかけて各プレイヤーのティーショットをカメラに収めた。



("船隠し"の入江)



(谷本氏と自宅前の「しころ引き」説明板)



(五剣山と八栗寺)

執念と忍耐の「三金ゴルフ」

永翁氏（41商）初の単独優勝

3月12日午後、屋島山頂で降り始めた牡丹雪は降りたり止んだり。夜にかけて寒さが増し、時折、激しく小雪が舞う。塩江温泉・新樺川観光ホテルでの懇親会席上、前夜祭よろしく「ゴルフ組」は健闘を誓い合った。

翌日、二日酔いを跳ね返し、6時半より朝食。雪がちらつく中、7時過ぎに四国カントリークラブへ出発。山間部に入るにつれて、だんだんと雪が激しくなる。R193にて「夏子ダム」を過ぎ、石ころが目立つ昔江谷川沿いに脇町へ。路面に雪はないが、周辺の山や田は雪景色そのもの。更に車を進め、吉野川を横切り穴吹駅付近のコンビニで7時半頃、臨時駐車

車、先頭車がゴルフ場に連絡すると、本日はクローズしたとのこと。この辺りから先輩諸氏の本領が発揮され始める。

まず、宅急便で（コンビニの駐車場で）送付済みの平間さんと高須さんのゴルフバッグを引取るため、少し先にある年金の保養施設まで走った。

ここまでゴルフ場側が配送するように中尾さんが説得。この間、安徳さんがホテル側と交渉し、「志度カントリークラブ」の予約が成立。スタートは10時48分。時間はたっぷりある。やって来たばかりの道を引き返し、一路、瀬戸内海側へ。高松空港の辺りまで来ると雪は全く降っていない。休日で渋滞が予測される高松市街を避けて「仏性山」付近を東に折れて長尾寺へ。ここから北へ進路を取り、志度寺からR11へ。高松で勤務経験がある平間、久芳両氏の土地勘が素晴らしい。更に、東へ進み9時半頃に志度CCに到着。

寒さと強風の中、忍耐のゴルフが始まった。打球が風で曲がる、逆風にあおられ失速、バンカーにつかまる。北側の小豆島を背景にして白い船がくっきりと浮いているが、その風景を楽しむ余裕などない。海岸沿いの平坦なコースと思いきや、打ち上げ、打ち下ろしの山岳コースだ。コース間のつながりも長い。安徳さんの運転するカートが速度を緩めず急坂をくだり、カーブ直前で急制動をかける。振り落とされそうになり思わず悲鳴…。

ブレーキ・メーカー勤務の小生には出来ない技である。コンペの勝敗は、ゴルフ歴を誇る永翁さんと久芳さん一位、二位。ブービー賞は吉本さん。上位の両氏とも大た（高山さんティショット）たきのホールがあり、グロスで100が切れていない。いかに悪戦苦闘であったかを物語る。



（コンビニの駐車場で）



（コンビニ向かい側の雪景色）



（優勝賞品の米を担ぐ永翁氏）

他の参加者達も自分のスコアに不満そうである。コンペ中の降雪こそなかったが（翌朝のスポーツ紙は、甲子園球場の阪神のオープン戦が吹雪で13：47より6分間中断と報じていた）、自然との厳しい戦いに一喜一憂した一日が終わった。

スタート時間が大幅にずれ込み、予定していた表彰式を割愛したが、大穴馬券を独り占めた謝さんの嬉しさ一杯の笑顔が印象的であった。

参加者の皆様、本当にお疲れ様！！「ゴルフ組」のスケジュールに最後までお付き合頂いた「歩こう会」の方々、心より感謝申し上げます。高山行雄（45米英）記



（優勝者永翁氏）（後藤、松山、高須）（準優勝の久芳氏）

第23回三金ゴルフ成績表 於志度カントリークラブ

参加者名	卒年学科	グロス	ハンディ	ネット	順位
永翁正臣	4 1 商	106	16	85	優勝
久芳健二	4 4 中	109	20	89	準優勝
高山行雄	4 5 米英	122	32	90	3位
河野旺生	3 6 商	106	14	92	4位
謝 美華	ゲスト	111	19	92	5位
安徳信義	4 4 商	110	17	93	6位
平間正昭	3 7 商	118	24	94	7位
後藤公一	3 8 商	117	18	99	8位
松山 仁	4 4 商	120	20	100	9位
吉本富雄	3 9 米英	139	36	103	10位
高須美津子	ゲスト	153	36	117	11位
中尾清光	4 4 経営		19		ハーフのみ

兵庫支部月例会『三金会』会場

毎月第三金曜日午後6時～8時

すなっく

フリージア

神戸市中央区北長狭通2-5-1



お気軽においで下さい

JR元町

1階は
がんこ寿司

JR三宮